

所管課：福祉部福祉課

期 間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

平成29年度 総合福祉センター管理運営評価表

1 施設概要

設置目的	老人及び障がい者に対するサービスの提供、各種福祉団体の育成等及び各種福祉情報の提供等を総合的に行い、市民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図ること。
施設内容	・ 老人デイサービス事業及び生活介護事業を行う施設 ・ 福祉活動施設
指定管理料等の支出額	協定締結額 49,471,000 円 支出済額 48,478,950 円

2 指定管理者

名 称	社会福祉法人 北本市社会福祉協議会
所 在	北本市高尾1丁目180番地
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務範囲	(1) 管理施設等の維持管理に関する業務 (2) 管理施設の利用承認に関する業務 (3) 老人デイサービス事業 (4) 生活介護事業 (5) 各種福祉団体・ボランティアの育成に関すること (6) 研修事業 (7) 相談事業 (8) その他施設の設置の目的を達成するために必要な業務であって、協議の上定めた業務。

3 管理運営の実績

施設の貸出状況等	条例・規則、仕様書に基づいた受付、貸出が行われた。 ・ 福祉活動施設の利用者数は14,558人（前年度14,039人）前年比3.7%増。
料金の収受の状況	福祉活動施設は無料のため、利用料の収受はなし。 生活介護事業利用者負担金 434,167 円を収受した。
自主事業の状況	トマトカレー婚活パーティー、婚活セミナー&Teaパーティーを実施した。
施設維持管理の状況	清掃、設備の点検、警備の管理等が行われた。
収支の状況	(1) 経常収入 67,583,798 円 指定管理料 49,471,000 円、事業収入 58,000 円 障害福祉サービス事業収入 18,053,648 円、その他収入 1,150 円 (2) 経常支出 66,591,748 円 人件費 42,326,867 円、事業費 22,583,942 円、事務費 398,069 円 助成金 390,000 円、退職手当積立 891,720 円 (3) 経常収支 992,050 円

4 利用者の満足度調査等

利用者アンケートの結果	今年度アンケートは、平成30年1月29日～平成30年2月28日の期間において実施する。
利用者の意見、苦情等とその対応	<p>意見や苦情等は特になかったが、生活介護事業においてヒヤリハット報告が4件あった。</p> <p>(1) 昼食時において</p> <p>【状況】 昼食時、利用者の補助に配膳担当ではない担当が入り、器に向きや苦手な食材を除けた際にご飯の器に髪の毛が付いてしまい、その旨の話が対応した担当以外にあった。</p> <p>【対応】 対応した担当の謝罪と器の交換を行った。三角きんの着用の徹底と付けていないときは、配膳担当に任せる。</p> <p>(2) リハビリ時において</p> <p>【状況】 リハビリを終えた利用者が作業室でウトウトしていた。トイレに行くとして作業室を出たが、そのまま静養室のベッドで眠ってしまった。</p> <p>【対応】 たまたま来た職員がを見つけ、声掛けした。利用者一人一人の行動や様子の把握を行い、状況にあった対応を行う。</p> <p>(3) 来所、退所時において</p> <p>【状況】 利用者が玄関前の階段でつまずき転倒しそうになったので、職員が手を差し伸べて支えたが、利用者は支えられた右手を3か月前に骨折しており、強く引っ張られて痛いとの話が合った。</p> <p>【対応】 謝罪し、病院の受診をお勧めしたが、大丈夫ということであった。車いすの移乗場所が階段をおりて行うようになっていたが、設置場所を変更した。</p> <p>(4) バスでの送迎時において</p> <p>【状況】 車いすでの利用者が乗った際に車いすを固定するフックを忘れ、車いすが揺れたことで利用者から訴えがあり、添乗した職員がフックをかけなおした。</p> <p>【対応】 運行前に声出し、指さし確認を徹底する。</p>

5 庁内検査委員会のまとめ

所見	生活介護事業の利用率を向上させる方策を考えること。
----	---------------------------

6 前回評価委員会の指摘事項

指摘事項	施設の老朽化の対応について、早急に方針を示すこと。
対応状況	総合福祉センターは、平成4年竣工で、全体的に老朽化が進んでいますが、H28には介護特殊浴槽の入替、H29には駐車場の修繕等を行い、H30にはエレベーターの交換工事を予定しており、順次、修繕を行い、市民の利用に支障のないように修繕を進めております。

7 評価委員会のまとめ

総合評価	● A：業務が履行され、施設の管理運営が適切になされている。 ○ B：一部改善を要する事項はあるが、施設の管理運営がほぼ適切になされている。 ○ C：履行に重大な問題がある。
所見	予算と決算が同額で調整されているため、評価のしようがない。委員会への収支の報告方法を見直すこと。

(評価実施日 平成30年7月30日)